



新年のご挨拶

令和七年 一月吉日

一般財団法人日本健診財団
理事長 岡部 好伸

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は弊財団に対し多大なるご支援とご協力を賜りましたことに心より御礼申し上げます。

令和七年は、十二支で「巳（み）」にあたる年です。巳年は、努力が実を結び、物事が新たな段階へと成長する節目とされています。これまでの積み重ねを大切にしながら、新たな挑戦を進める年にしたいと考えております。

振り返りますと、旧年も医療・健診分野においては多くの出来事がありました。特にAI（人工知能）の進化は、診断支援や医療データ分析の分野で大きな成果を上げつつあり、今後の医療の質を飛躍的に向上させる可能性を秘めています。また、感染症対策の更なる強化や、オンライン診療の普及など、新しい時代に即した医療の形が少しずつ定着してきた二年でもありました。これらの変化は、健診の現場における効率化や、受診者の皆さまへの負担軽減に大きく貢献するものと期待されています。

そのような中で、私ども日本健診財団は、「健康診断を通じて一人ひとりの健康を守る」という使命を胸に、常に時代に応じた健診サービスの提供に努めてまいりました。昨今の健康意識の高まりを受け、皆さまが健康維持や早期発見に対する関心を深めてくださっていることを、大変心強く感じております。

令和七年は、より一層「予防医療」の重要性が増す年となるでしょう。私たちは、健診技術の向上とサービスの充実を図りながら、皆さまの健康寿命の延伸に貢献すべく、邁進する所存です。特に生活習慣病やがんの早期発見、そしてメンタルヘルスのサポートにも力を入れ、多角的な視点からの健康支援を目指してまいります。また、地域社会との連携を深め、皆さまが安心して健診を受けられる環境を整えることも、私どもの重要な責務であると考えております。

最後になりますが、新しい年が皆さまにとって希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。